



「開かれた学校づくり」から発信

このコーナーでは、各園・学校の取組や様子をお知らせし、地域の学校としての情報発信をしています。地域の皆様には、様々な取組にご理解とご協力をいただいておりますが、今後とも地域ぐるみで子どもの健全育成に関わってくださいますよう、よろしくお願いします。

清水幼稚園・清水第一小学校

体も頭も使って、元気です！ 清水幼稚園・第一小学校では、いろいろなことに全員で挑戦しています。小さい子はできることを、上級生はたくさんのお話を引き受けて、一人ひとりが一歩ずつ前を目指し、みんなで働いたり、学び合ったり、創り上げたりして頑張っています。その一端を紹介します。

♡**せっせ、せっせ** 幼稚園では、「働く」経験を楽しんでいます。先生と一緒に落ち葉集めや、春を楽しみにサヤエンドウ育て。もう一輪車だって上手に押せます。干し柿作りにも挑戦しました。早く甘くならないかなあ。

♡**みんなで力を合わせると** 小学校の全校総合学習は「清水のお宝発見」。1学期と2学期は「山のお宝」チームと「清水の昔話」チームに分かれて、調べ学習をしてきました。1・2年生も上級生のしていることを見ながら活動に参加しています。

昔話チームが調べたお話「にこぶちの大蛇」は、土佐弁劇にして「清水フェスティバル」(11月23日)で保護者や地域の方に見ていただきました。11人全員が主役、先生は全員裏方です。いつもしゃべっているはずの土佐弁ですが、今はあまり使わないしゃべり方もあって、アクセントが違う、これはどういう意味？と、首をかしげながら練習しました。途中で歌を入れたり、衣装を地域の方に貸していただいたり、ライトや機器も使ったり、少しずつ仕上げていきました。

また幼稚園児も先生と一緒に大道具の色塗りを手伝ったり、劇の練習を見に行ったりして協力し、みんなの力で劇を作ることができました。

「山のお宝」チームが調べた、へらもち作りにもみんなで挑戦しました。自分たちで育てた芋を石うすでひいて粉にしました。石うすを回すのもみんな初めてです。もち作りには、地域の方がおもちを包む葉っぱをたくさん用意して手伝いに来ていただきました。第2回のへらもち作りは、12月4日の研究発表会に来ていただく先生方に食べてもらおうと、たくさん作りました。「なつかしい味」「おいしい、もう一つもらっていいですか」と大好評！

劇もへらもちも、たくさんの方に喜んでもらえて、誉めていただいて、自信につながる活動になりました。

